

2017年(平成29年)

1/1号

第1851号

発行日/毎月2回(1日、15日)



まちだ

市の宣言

- 男女平等参画都市宣言
- 非核平和都市宣言
- 青少年健全育成都市宣言
- 交通安全都市宣言



発行 ● 町田市 編集 ● 政策経営部広報課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
市役所の代表電話 ● 042-722-3111
市役所の窓口受付時間 ● 午前8時30分～午後5時
ホームページ ● <http://www.city.machida.tokyo.jp/>



今号の紙面から ●4面 鶴川駅周辺再整備基本方針を策定しました ●7面 年始の救急診療

謹んで新春のご挨拶を申し上げます



2017年新春座談会

スポーツのチカラで、まちだをもっと元気に楽しく



2017年初の広報まちだは、2016年リオデジャネイロ パラリンピックの自転車競技で銀メダルを獲得し、市民栄誉彰を授与された町田市出身・在住のアスリート鹿沼由理恵さんと母・美登利さん、石阪丈一市長の座談会をお届けします。

(写真左から、鹿沼美登利さん、由理恵さん、石阪丈一市長)

町田市では、「スポーツで人とまちが一つになる」を目指し、スポーツ推進を図る施策を進めています。昨年は、リオデジャネイロ パラリンピック(以下、リオパラリンピック)の自転車競技で、町田市出身・在住の鹿沼由理恵さんが銀メダルを獲得するという快挙を成し遂げました。2017年初の広報まちだでは、鹿沼さんをお迎えし、前向きな生き方や、町田市との関わりについて伺いたいと思います。また、鹿沼さんのお母様の美登利さんにもご

登場いただき、子どもの頃の鹿沼さんの様子や教育方針についてお話しいただきます。

いろいろな方とつながっていく リオパラリンピックのメダル

石阪丈一市長 明けましておめでとうございます。昨年のリオパラリンピックでの銀メダル獲得は、町田市にとっては、オリンピック、パラリンピックを通じて初のメダルであり、私たちに大きな喜びをもたらしてくれました。

鹿沼由理恵さん 町田の皆さんが壮行会で応援して下さい、大会中も日本から声援を送って下さったりしたことは、大きな励みになりました。レースでは、スタート前に自転車の変速機が壊れてギアが変わらなくなるアクシデントがあり、一瞬焦りましたが、「踏んでいくしかない」と気持ちを切り替え、必死にペダルを踏みました。リオから帰って来たときに、知っている方も知らない方も、皆さん笑顔でメダルに触れて喜んで下さり、いろいろな方とつながれたメダルでもあると思っています。

石阪丈一市長 そのときお母様は?

鹿沼美登利さん 私は日本にいて、親戚や知人から「おめでとう」の電話やメールが来て、メダルを獲得したことを知りました。テレビのニュースで由理恵が泣いている映像が流れて、私も泣けてしまし

た。成田空港に出迎えに行き、メダルを見せてもらったときには、また涙でした。

石阪丈一市長 鹿沼さんは、パラリンピックが終わってから、イベントや小・中学校、高校に招かれて貴重な体験をお話しされ、障がい者スポーツへの理解をひろめていただいています。まさに、いろいろな方とつながるメダルになりましたね。

ピンチをチャンスに変えて 出合ったパラサイクリング

石阪丈一市長 鹿沼さんはもともとスキーマの選手で、2010年のバンクーバー冬季パラリンピックにクロスカントリーで出場し、5位入賞を果たしています。しかし怪我をして、パラサイクリングに転向されたと聞いています。

鹿沼由理恵さん 2014年のソチパラリンピックを目指して練習しているときに、左肩の靭帯を痛めて、ストックが突けなくなりました。そのままクロスカントリーを続けることはできたかもしれませんが、メダルを狙える成績は期待できません。バンクーバーで、ほかの選手が金メダルや銀メダルを獲得するのを目の当たりにしていたので、ただ出場するのではなく、成績を残したいという気持ちが強くありました。そこで、ライバルでもあったカナダの選手に相談してみたところ、「私はパラサイクリングも

